

『踏みつぶす』 作：ポチ子

買った花束を踏みつぶしたとして、

綺麗な花たちは、

私に歯向かってはこない。

ただ無様に踏みつけられて、

惨めな姿になる。

他人が見たら、

酷く怒るだろうが、

それは見られたらの話であって、

知られなければ、

無かったことにできる話だ。

花は弱い。

私は花より強い。

だからこうやって踏みつぶしたって、

何の罪にも問われない。

なぜなら、

たかが花程度だからだ。

全ては、

花が弱いのがいけないのだ。